

JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和5年1月31日 発行 第89号

(一社) 日本釣用品工業会 大村会長年頭所感

未来を見据えた釣りの魅力を次のステージへ



一般社団法人
日本釣用品工業会
会長 大村 一仁

謹んで、新年のお祝いを申し上げます。

旧年中は(一社)日本釣用品工業会(日釣工)の活動に多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。昨年は、18年間にわたって会長を務められた島野容三氏が勇退され、私、大村がその任を引き継ぐことになりました。これからも皆様と共に、業界の課題解決と今後の発展に尽くして参ります。何卒、宜しくお願い申し上げます。

新体制となつてまずは、将来のための基盤づくりを行い皆様と共に歩んでいくために、日釣工の存在意義とミッションを明確化しました。島野前会長の理念を継承しながら、我々が目指すべき姿をわかりやすく伝え、業界の内外への浸透を図って参ります。

2000年代に入って以降、釣り人口は減少傾向にあります。しかし、業界にとってポジティブな変化も生まれています。SDGsという世界的潮流、アウトドア市場の活況、さらにコロナ禍で「釣り」が密のないレジャーとして注目されています。何より日本の釣用品業界には世界最高峰の技術力と品質力があります。今、我々が新ミッションのもと一丸となりこの機運を最大限に生かせば、釣り界の未来を切り開いていけると確信しております。

存在意義 「釣り人の安全・安心を第一に、釣りの楽しさを提供できる釣用品事業の推進を図る」
「釣用品事業を通じての社会貢献を図り、釣りと一般社会との親和性を図る」
ミッション 「釣りの社会的地位向上を図る」「釣り人口の健全な拡大を図る」

釣りの社会的地位向上や社会との親和性を図る動きとしては、(公財)日本釣振興会様との協働事業でもあるつり環境ビジョンコンセプトに基づく「LOVE BLUE事業」があります。「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」の3つをミッションとして活動し、今年で11年目を迎えます。釣り人のさらなるマナー向上に向け、昨年は、お笑い芸人ミキの亜生さんをマナー向上大使に任命、他にも環境問題の第一人者の方々との対談を行うなど活動の幅も広がり、社会的な評価の高まりも感じております。これも参加企業および釣り人の皆様方のご理解があつてこそ、深く感謝を申し上げます。

また2023年は、「釣りフェスティバル」がパシフィコ横浜にて3年ぶりのリアル開催となります。昨年、一昨年で得たオンラインのノウハウを活かし、メーカー情報やフェスティバルの見所をいち早くお届けする前夜祭企画や、世界中の釣りファンに向けた「釣りフェスチャンネル」の開設など、まさにリアルとオンラインを融合したLIVEフェスティバルとなる予定です。

日釣工の存在意義である「釣り人の安全・安心を第一に、釣りの楽しさを提供できる釣用品事業の推進」においては、「規格・安全委員会」を中心に信頼あるライフジャケットの普及啓発などを関係機関と共に進めております。それとともに、安全・安心の釣用品の普及推進活動を行っております。また、「市場調査委員会」では市場の動きを定点観測して釣具業界の道標となる「釣り用品の国内需要動向調査報告書」を発刊するなど、業界発展のために多岐にわたる活動を行っております。

「釣りの社会的地位の向上」と「釣り人口の健全な拡大」には、釣りが今後も人や社会にとってなくてはならないもので有ることが必要です。そのためにも、引き続き会員の皆様と弛まぬ努力を積み重ね、相互成長の土台を作っていくチャレンジをして参ります。

今後とも変わらぬご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

大村会長 新年のご挨拶	P. 1
釣りフェスティバル2023開催速報	P. 2
ロイヤルアングラー賞	P. 4
LOVE BLUE委員会からのお知らせ	P. 5
規格・安全委員会からのお知らせ	P. 7
広報・組織委員会からのお知らせ	P. 7
海外戦略プロジェクトからのお知らせ	P. 7
第41回理事会報告	P. 8
会員情報	P. 8
事務局だより	P. 8

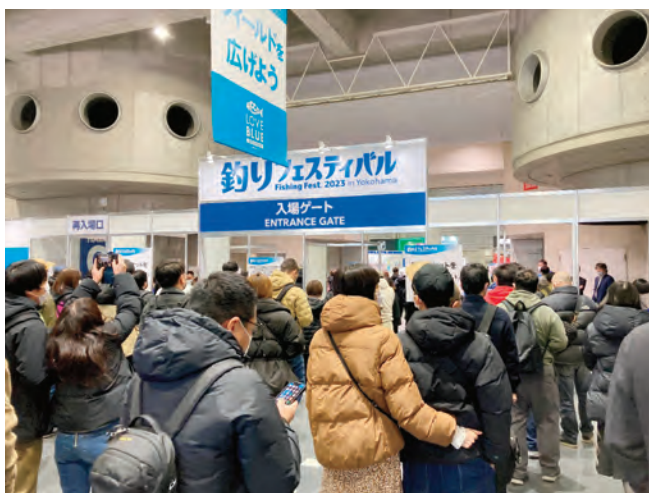
目次

釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2023 in Yokohama

3年ぶりにリアルでの開催となる「釣りフェスティバル2023」が、1月20日（金）より3日間、パシフィコ横浜で行われました。また2年続けて実施したオンライン開催のノウハウを活かし、リアル&オンラインの併催という初めての試みにチャレンジしました。

コロナ禍での大規模の屋内イベントを開催するにあたりJAF実行委員会（荒井一郎委員長）では、関係者の皆様の安心安全を第一に、入場券の販売を電子チケットに限定し、イベント内容の見直しやブース内での密にならない運営をお願いするなど、感染対策に配慮しました。企画当初より、ターゲットを現在の市場を支える「熱い釣りファン」に絞り込み、出展各社様の製品をより深く味わっていただけるような開催と致しました。また、オンラインサイトでは開催前日のプレミアムナイトをはじめ、リアル会場のメインステージの様態を収録の3時間後に公式サイトにアップするなど、リアルとオンラインの融合に力を入れました。パシフィコ横浜の入場者数は、3日間合計で24,140名、オンラインサイトへの訪問ユーザー数は、会期中（プレミアムナイト視聴者含む）114,532ユーザー、PV数は912,353PVとなりました。



クールアングラーズアワード2023 ミキ亜生さん

広く釣りファンの拡大に貢献した著名人を対象に、Sports Fishingを愛し、Sports Fishingの魅力をもさらに広める著名性を持ち、さらにはSports Fishingの魅力新しい時代感覚の中で体現されている方を、「クール・アングラ―」（カッコいい釣り人の意味）として表彰し、讃え、多くの皆様にご紹介しようという企画です。

ミキ亜生さんは、芸能人屈指の釣り好きで知られ、釣りの楽しさやマナーの大切さについて情報発信されていることが、今回の受賞につながりました。

第14代アングラーズアイドルは、西村美穂（にしむらみほ）さん

西村美穂さんは、アナウンサーになる夢を持っている行動力のある大学生。メインステージの最終審査において、しっかりと自分の考えや釣りに対する思いを物怖じすることなく伝えてくれました。釣りをきっかけに人と人の距離が縮まっていくエピソードはとても印象に残りました。今後は、初心者の目線で「釣り」を世の中に広く発信する象徴として活躍していただけるものと思ひ、第14代アングラーズアイドルに選出いたしました。



「ロイヤルアングラ賞 2023」葉加瀬太郎氏が受賞

(一社)日本釣用品工業会では、2008年度から経済・文化・芸能・スポーツ等の各界でご活躍されている方々で、釣りに対して造詣が深く、趣味として愛好されている方々や、釣り及び釣り文化の発展に寄与されている方々の中から毎年選出させていただき、感謝の気持ちを込めて「ロイヤルアングラ賞」として表彰させていただいております。

2023年はヴァイオリニストの「葉加瀬太郎」氏を選出し、表彰させていただきました。

葉加瀬太郎氏 プロフィール

ヴァイオリニスト 1968年1月23日 大阪府生まれ。4歳でヴァイオリンを弾き始め、クラシック一筋の生活を送る。東京藝術大学入学の後にポピュラー音楽に目覚め、90年にKRYZLER & KOMPANYとしてデビュー。CM音楽やTV番組のテーマ曲などを数多く手掛け、96年の解散までにアルバム11枚を遺す。ソロ活動後にはプロデュースワークやTV番組のパーソナリティなど多方面で活躍。代表曲は「情熱大陸」ほか。他のアーティストとの共演も多い。2020年にデビュー30周年記念アルバムをリリース。2022年4月、東京藝術大学客員教授就任。「葉加瀬太郎オーケストラコンサート」や「葉加瀬太郎コンサートツアー」の全国開催やアルバムリリース等精力的に音楽活動に取り組んでいる。また、奥様の高田万由子様や2人のお子様との温かな家庭生活の様子も数多くのメディアに取り上げられている。



釣りを始めたきっかけ、釣りに関わるエピソード

今から10年くらい前、当時4歳の息子と二人きりで過ごす1週間の休みがあって、沖縄へ旅行に行ったのですが、レジャーとして二人で遊漁船に乗って釣りをしました。そのとき、息子が大きなハタを釣ったことをきっかけに、まず息子が釣りにハマりました。それから息子と何か遊ぼうとなると、釣りになって、都内にいても釣り堀に行ったりして、それに付き合っていたら、いつの間にか息子は関係なく自分が釣りにハマってしまいました。まず管理釣り場のルアーフィッシングから始まり、そのうちタイラバとかジギングをするようになりました。僕は、コンサートツアーの関係で、日本全国を回ることが多く、今では、ツアーの移動日などを利用して、スタッフと一緒にいろいろな土地で大いに釣りを楽しんでいます。

好きな釣り

遊漁船でのタイラバです。今年は毎月1枚以上マダイを釣りあげることが目標に、今のところ達成し続けています。東京にいるときは外房、鹿島灘で一つテンヤのマダイ釣りに行きます。ツアー中では、長崎県の対馬、熊本県天草に行きマダイ釣りをしました。そのほかには、管理釣り場でのスプーンやクランクを使ったトラウト釣りも好きです。



釣りの魅力は

落とすタイラバの海中での様子を想像し、タイが今どのような状況にいるのか、五感を研ぎ澄まして集中することは、仕事のことも、悩んでいることも全てを忘れさせてくれる、幸せな時間です。マダイが釣れた時の独特なアタリは生命の力強さを感じ、そのアタリは病みつきになって中毒性を持っています。釣り上げたマダイは本当に美しい。アイシャドーの入った目元に恋しています。

毎日舞台に立っているのも、船に乗って海風にあたること、海に出ているだけでも気持ちが良いです。舞台は、今でも毎回緊張するけれども、釣りを始めたことで、緊張する度合いが減ってきました。

また、釣り道具を集める喜びもあります。バックロッドから始めましたが、釣りを楽しんでいるうちに、それぞれの釣り物の専用の竿が欲しくなってきました。今では、釣竿が何十本、リールが何十台と増え続けていますが、道具を愛でてメンテナンスすることがすごく楽しいです。特に、釣りの前日、準備をしているときは、コンサートのリハーサルにも似ていて、どのように工夫をしようかなどと戦略を練ったりする時間が一番楽しい瞬間ですね。



LOVEBLUE委員会からのお知らせ

今年度も会員企業の皆様、参加企業・団体の皆様のご理解とご協力のもと、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、日本全国において公平に優先三事業（水辺をキレイに、サカナを守ろう、フィールドを広げよう）を推進して参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

釣りフェスティバル2023 in Yokohama

2023年1月20日（金）～22日（日）の3日間開催されました。釣りフェスティバル2023では、LOVE BLUE事業が10周年という事もあり、釣り人の皆様へ感謝を伝える為、展示を行いました。オンラインでは引続き動画等をご覧ください。



LOVE BLUEマナー広報

これから釣りを始めようとしている人や釣りを始めたばかりの人（エントリー層）へ、そして、波及的に釣り人の皆さんへも伝わるように取り組んで参ります。

Huff Post JapanとBuzz Feed Japanで記事等が掲載されます。

また、この取組みは業界三紙（釣具界/日本釣具新報/釣具新聞）へ情報提供しておりますので、是非ご確認ください。

LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、（10月から12月）では新規実施場所 5箇所を含む、5県で49日間実施（2022年度累計：1道23県160日実施 12月末現在。）

2022年度も社会情勢などを見極めながら、引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。



奈良県山添村 布目ダム

10月～12月までの実績

期間	実施日数	実施場所
10/1～10/5	5日間	千葉県南房総市 千倉漁港
10/7～10/11	5日間	奈良県山添村 布目ダム
10/13～10/16	4日間	滋賀県守山市 赤野井港湾
10/18～10/20	3日間	滋賀県大津市 瀬田舟溜
10/22～10/24	3日間	滋賀県近江八幡市 長命寺漁港
10/26～10/28	3日間	滋賀県高島市 大溝漁港
10/31～11/2	3日間	滋賀県高島市 針江大川舟溜
11/4～11/6	3日間	滋賀県高島市 新川舟溜
11/8～11/11	4日間	滋賀県高島市 生水川舟溜
11/14～11/17	4日間	三重県南伊勢町 奈屋浦漁港
11/19～11/22	4日間	三重県志摩市 和具漁港
11/24～11/27	4日間	三重県志摩市 安乗漁港
12/1～12/4	4日間	長崎県南島原市 早崎漁港



滋賀県高島市 生水川舟溜



三重県志摩市 和具漁港



三重県志摩市 安乗漁港



長崎県南島原市 早崎漁港

LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年度も引き続き、釣り人の皆様に喜んで頂ける魚種を放流しております。

都道府県	魚種	放流尾数	放流場所	放流日
長崎県	クエ	4,000尾	福江島塩水港沖	10月21日
	カサゴ	1,500尾	相浦港沖	11月28日



長崎県 クエ



長崎県 カサゴ

水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

水産庁後援事業として、全国からの応募受付（期間6/20～9/30）を終了し、2022年度採択団体が決まりました。尚、応募要領は水産庁から各都道府県内水面担当部局、全国内水面漁業協同組合連合会から各都道府県内水面漁業協同組合連合会等、さらに、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門沿岸生態システム部 内水面グループから各都道府県水産試験場へ配布・周知されておりました。

2022年度採択団体

採択番号	事業主体	実施地
022	埼玉県漁業協同組合連合会	埼玉県
023	下伊那漁業協同組合	長野県 岩倉ダム
024	阿寒湖漁業協同組合	北海道 阿寒湖

地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する12団体（2015年度助成開始以来累計34団体）が、各地で活発に活動されています。その中で（一社）スピリット・オブ・セイラーズ、アイサーチ・ジャパン、（公社）大阪自然環境保全協会、全国川ごみネットワークの4団体が釣りフェスティバル2023のメインステージで活動報告を行いました。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣り人の皆様に深く感謝します！」とお喜びのお言葉をいただいております。引き続き、水辺を守る皆様と連携しながら展開して参ります。



（一社）スピリット・オブ・セイラーズ



アイサーチ・ジャパン



（公社）大阪自然環境保全協会



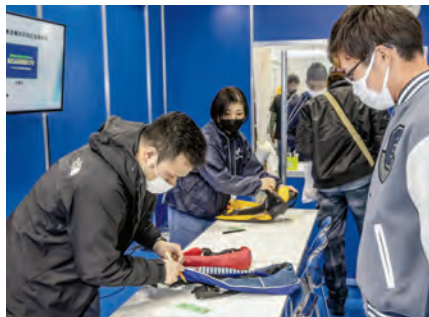
全国川ごみネットワーク

規格・安全委員会からのお知らせ

ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ

規格・安全委員会LJWG（高階才文リーダー）では、ライフジャケット着用の啓蒙から点検の重要性を伝えるにあたり、釣りフェスティバル2023で、膨脹式ライフジャケットの無償点検や自主点検講習会を行いました。

また、（一財）海洋レジャー安全・振興協会、（一社）日本マリン事業協会、日本小型船舶検査機構と横並びでブースを出展致しました。



膨脹式ライフジャケット無償点検



膨脹式ライフジャケット自主点検講習会



ライフジャケット関連団体四連ブース

広報・組織委員会からのお知らせ

組織強化WG

組織強化WGでは、「釣用品の国内需要動向調査報告書に関するオンラインセミナー ～業界外から見た釣り業界とは～」を開催致します。二部構成になっており、一部では釣用品の国内需要動向調査報告について、二部ではパネルディスカッションで業界外から見た釣産業の魅力と課題についてとなります。

開催日時：3月29日（水）13：00～15：00

形式：Zoom

お申込み締め切り：3月17日（金）15：00締め切り（別添QRよりお申込み下さい。）



会員向け初回無料法律相談の実施

会員の皆様へ、初回無料で法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

海外戦略プロジェクトからのお知らせ

1 釣りフェスティバル海外向け広報の実施

海外戦略プロジェクト（高階義尚リーダー）では、釣りフェスティバル2023 in Yokohama向けにタックルトレードワールド誌に諸外国からの来場、閲覧を促進するため、広告を出稿いたしました。

2 株式会社国際協力銀行 企業向け支援のご案内

2021年にオンラインにてセミナーを行っていただいた株式会社国際協力銀行より、最新の企業支援策の紹介の依頼がありました。詳細は、事務局小松までお問い合わせください。



第41回理事会開催報告

第41回理事会は、令和4年11月24日（木）14：00より、ホテルグランヴィア大阪にてリアル会議方式で開催し、下記の議案が報告・承認されましたので、概要をお知らせ致します。

議案審議

第1号議案 委員会活動報告および協議

- (1) JAF実行委員会報告&協議
- (2) LOVE BLUE委員会報告&協議
マナー広報WG 報告&協議含む
- (3) 規格・安全委員会報告&協議
- (4) 市場調査委員会報告&協議
- (5) 広報組織委員会報告&協議
① 広報WG ② 組織WG

第2号議案 プロジェクト活動報告および協議

- (1) 情報収集分析プロジェクトに関して
- (2) 海外戦略プロジェクトに関して

付議：【日釣工の存在意義とミッション】＝各委員会活動・PJ活動の方向性

第3号議案 令和4年度中間決算監査報告に関する件

第4号議案 会員代表者変更 及び 入・退会会員に関する件

第5号議案 (一社)日本釣用品工業会 後援名義使用許諾申請に関する件

第6号議案 その他報告承認事項に関する件

- (1) 令和5年度(2023年度)会議開催日程(案)に関する件
- (2) ロイヤルアングラマー賞 2023に関する件
- (3) 釣用品標準伝票値上げの件
- (4) 懇親会ご案内、その他

会員情報

〈会員住所変更〉

株式会社グレンフィールド

新住所：〒577-0063

大阪府東大阪市川俣1-1-41

ルクスビル3F

(電話、FAX番号変更なし)



事務局だより

釣用品の標準伝票について

来る2023年4月1日出荷分より、下記の通り販売価格を改定させていただきます。ご利用の皆様方におかれましては、何とぞご理解いただけますようお願い申し上げます。

- 改定後の価格 1000シート 9,600円(消費税込)
- <改定前価格> 1000シート 7,590円(消費税込)

※釣用品の標準伝票の品質保証期間は、出荷から6ヶ月程度となっております。

JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人

日本釣用品工業会

〒104-0032東京都中央区八丁堀2-22-8日本フィッシング会館5F

TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>